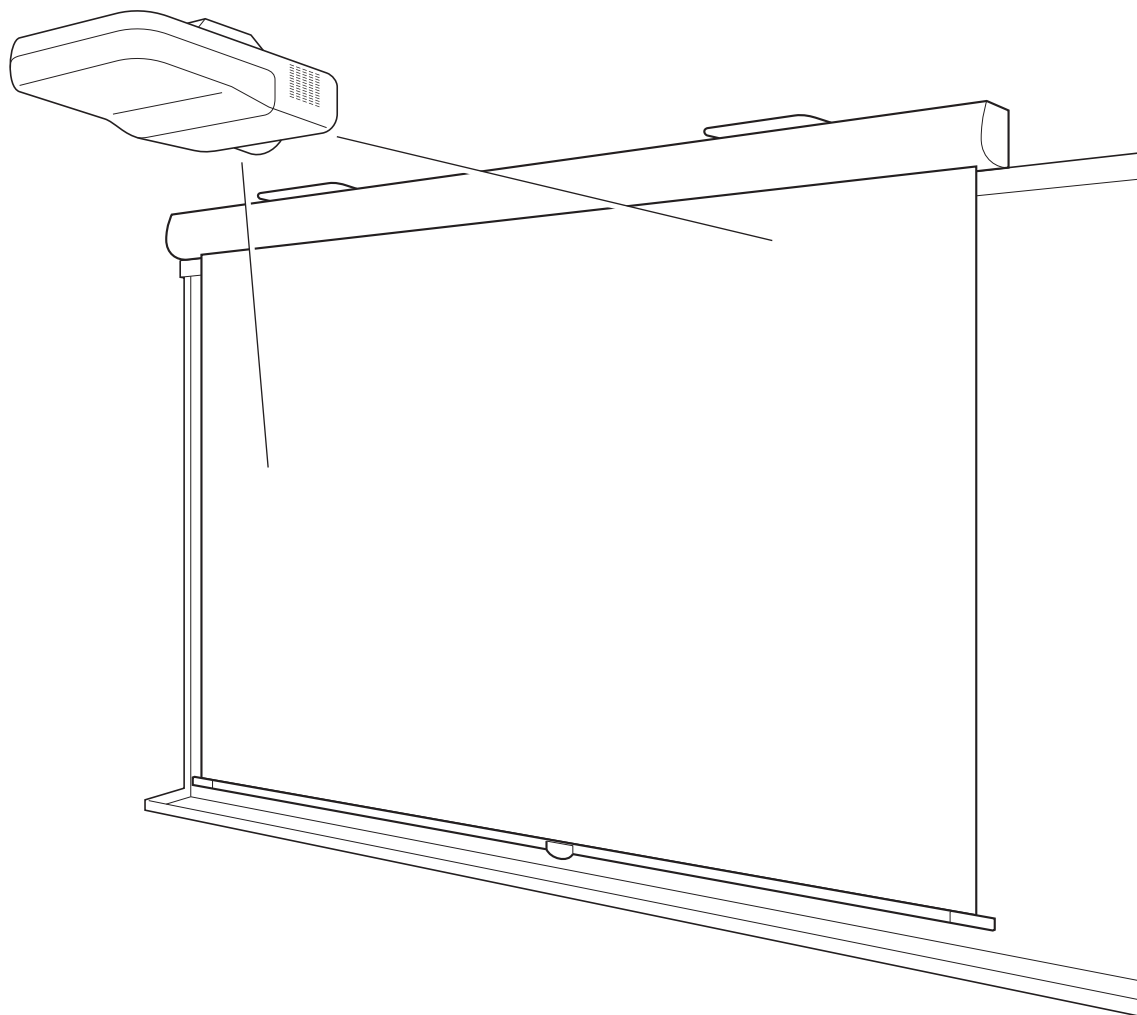


# スプリングロール式マグネットスクリーン

## IS-WOL80V 取扱説明書



このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
この「取扱説明書」は、本製品を安全に正しくご使用いただくためのものです。ご使用前に必ずお読みください。  
また、ご使用中もお手元に置いてご活用いただき、大切に保管してください。

## 安全上のご注意

製品は安全に十分配慮して設計されておりますが、誤った取り扱いをすると、火災が起きたり人が障害を負うことがあります。事故防止のため下記を必ずお守りください。

### 安全上のご注意の 注意事項を守る

「安全上のご注意」の注意事項を必ずお読みください。

### 定期的に点検する

ご使用前に、スクリーンの巻き取り部やつまみなどに、ゆがみ・ゆるみ・破損や亀裂等がないことを確認してください。点検は1年に1度行ってください。

### 故障したら使用しない

動作がおかしくなったり製品の破損に気がいたら、すぐに使用を中止して販売店に修理をご依頼ください。

#### 火気禁止 熱器具のそばに設置しない



製品にはプラスチック素材を使用しています。ストーブやヒーターなど発熱器具に近い場所に設置すると火災の原因になります。

#### 禁止 金属製品などでこすらない



スクリーンの表面は非常に硬いコート層で保護されていますが、プラスチック素材を使用しているため金属などの硬いもので強くこすると傷付く可能性があります。

#### 禁止 磁性記憶媒体を 10cm 以内に近づけない



スクリーンの 10cm 以内に、定期券、キャッシュカード、CD、DVD などの磁性記憶媒体を近づけないでください。データを破損する可能性があります。

#### 注意 スクリーン面に粘着テープなどを貼らない



誤ってセロテープなどの粘着テープを貼ったときには、粘着性が残らないよう注意しながらすぐに剥がしてください。粘着材がスクリーン面に残った場合は、中性洗剤などを使っていねいに拭き取ってください。

#### 注意 スクリーンを取り扱うとき



スクリーンを引き出す、収納する際には、周りに人や障害物がないかを十分に確認してください。

#### 禁止 子供がさわらないようにする



小さなお子様がスクリーンを操作したり、スクリーンを使って遊ばないように注意してください。

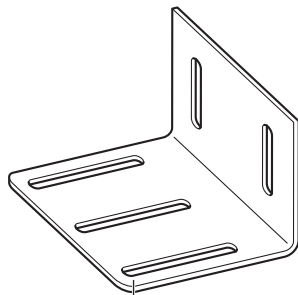
- スクリーンを引き下げすぎないでください。製品に付いているストップシール以上に引き下げると故障の原因だけでなく、スクリーンが落下して大ケガをする恐れがあります。
- 巻き上がる際の上昇速度は室内の温度環境によって多少変化しますが、故障ではありません。

## 設置に関するご注意

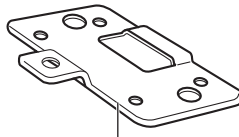
次のような場所には設置しないでください。

- 湿度の高い場所
- 直射日光のあたる場所
- ほこりの多い場所
- 風が直接あたる場所
- ストーブや熱器具の近く

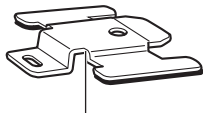
## 取り付け部品の名称



L字金具F (×2)



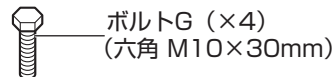
取り付け金具A (×2)  
(天井、ボックス、壁側)



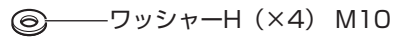
取り付け金具B (×2)  
(本体側)



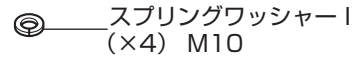
取り付けナットC (×2)  
(本体側)



ボルトG (×4)  
(六角 M10×30mm)



ワッシャーH (×4) M10

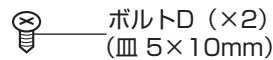


スプリングワッシャーI  
(×4) M10

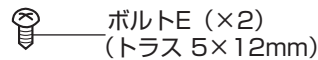


ナットJ (×4) M10

※ スプリングワッシャー、ナットは用途に応じてご使用ください。



ボルトD (×2)  
(皿 5×10mm)

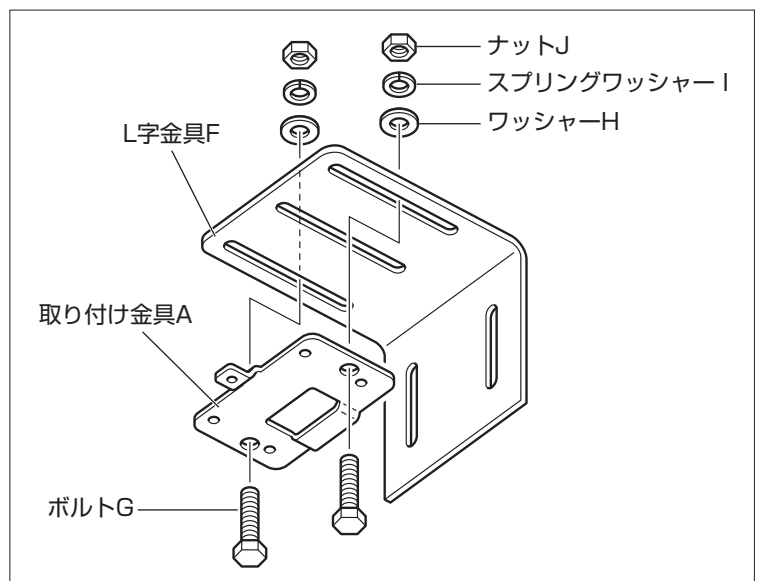


ボルトE (×2)  
(トラス 5×12mm)

## スクリーンを取り付ける

### 1. 取り付け金具 A を設置場所に取り付ける

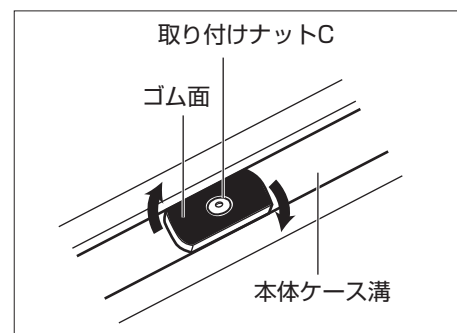
壁面に取り付けた L 字金具 F に取付金具 A を取り付けます。



### 2. 取り付け金具 B を本体ケースに取り付ける

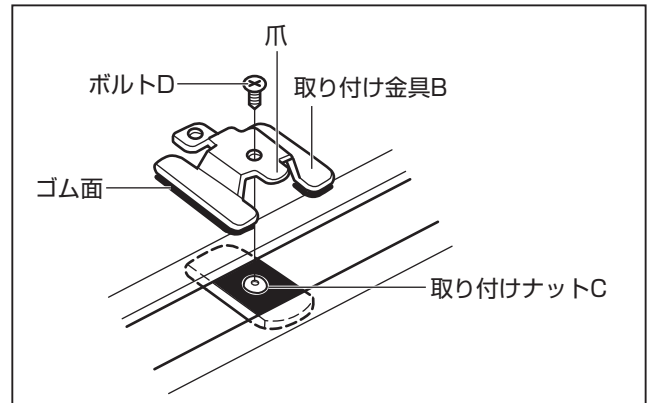
取り付け金具 B を本体ケースに取り付けます。

- ① 取り付け金具 B を取り付ける位置にしるしをつけます。
- ② 取り付け金具 B のボルト D を緩め、取り付けナット C を外しゴム面を上にして本体ケースの溝に収めます。



- ③ 本体ケースの溝の中で取り付けナット C を右方向に 90° 回転させ本体ケースから外れないようにした後、取り付け金具 B のゴム面を溝の両縁に渡した状態でボルト D を軽く締めて仮固定します。

取り付け金具 B から出ている突起が取り付けナット C の上に乗らないようにご注意ください。



- ④ 取り付け金具 B を①のしるしに合わせた後、ボルト D を強く締めて固定します。

※この時に取り付け金具 B から出ている突起が取り付けナット C の上に乗っていないか、取り付けナット C が溝方向に対し直角にセットされているか確認してください。

### 3. 本体ケースを取り付ける

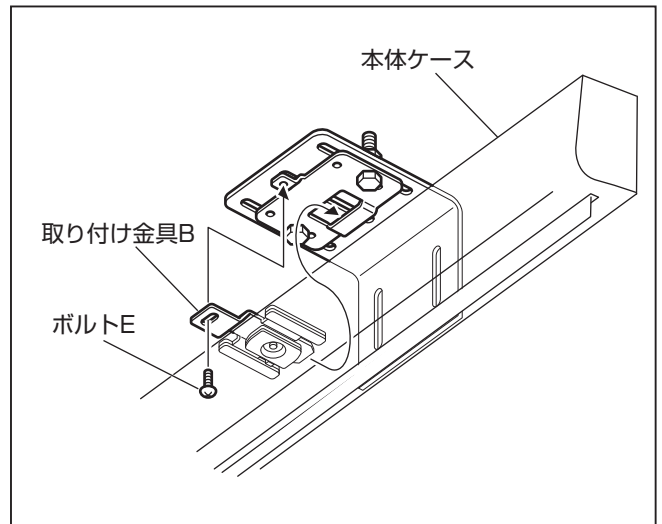
L 字金具、壁に取り付けた「取り付け金具 A」に本体ケースを取り付けます。

- ① 取り付け金具 B の爪を、L 字金具、壁に取り付けた取り付け金具 A の窪みに差し込みます。



取り付ける場合は、特にスクリーン本体ケースが取り付け金具 A から抜け落ちないように注意してください。また、施工の途中では絶対に手を離さないでください。

- ② 取り付け金具 B のボルト E を取り付け金具 A のネジ穴に合わせ強く締め固定します。



# スクリーンをセットする

## スクリーンを引き出す

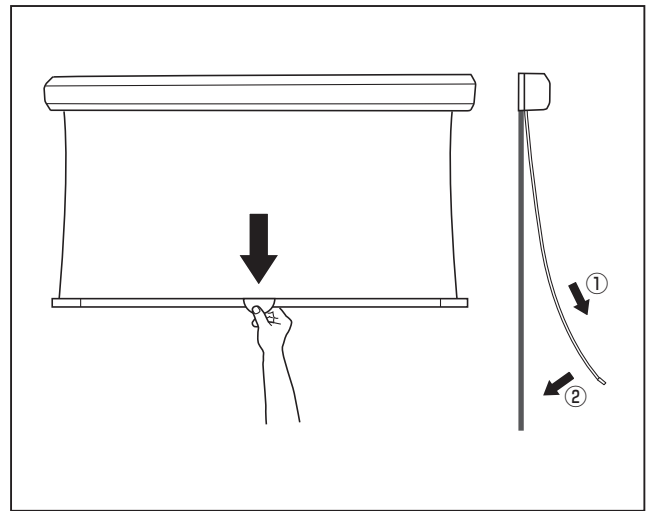
- ① 中央のつまみをしっかり握り、スクリーンを下向きに引くようにして黒板から離しながら引き出します。
- ② スクリーンを引き下げていくと、約8cm 間隔でロックします。希望の位置まで引き下げてください。

スクリーンをストップシール以上に引き下げると故障の原因だけでなく、スクリーンが落下して大けがをする恐れがあります。

- ③ 貼り付け時にエアなどが入った場合は、一度剥がしてから貼り付け直してください。

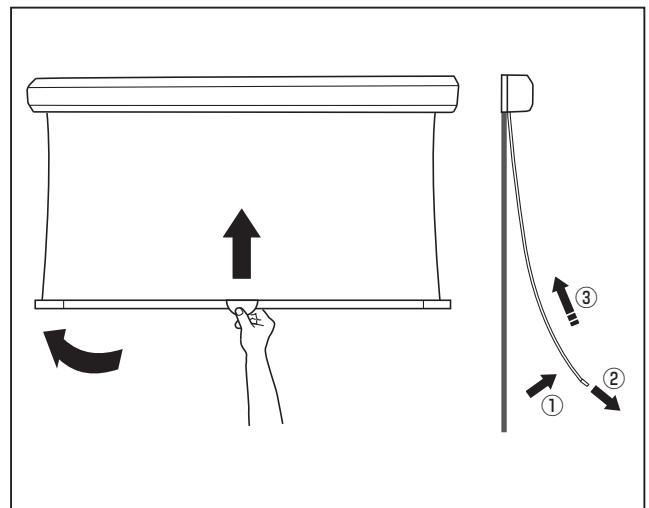
スクリーン貼り付け時は、上側中央を指で押さえゆっくり貼り付けてください。端部がカールして浮いたときは、カールした箇所を上から手で軽く押し付けるとしっかりと貼り付けることができます。巻きぐせが強く貼りつかない場合でも、しばらく貼ったまま放置しておくとうりつきます。

※カール：スクリーンの巻きぐせ



## スクリーンを収納する

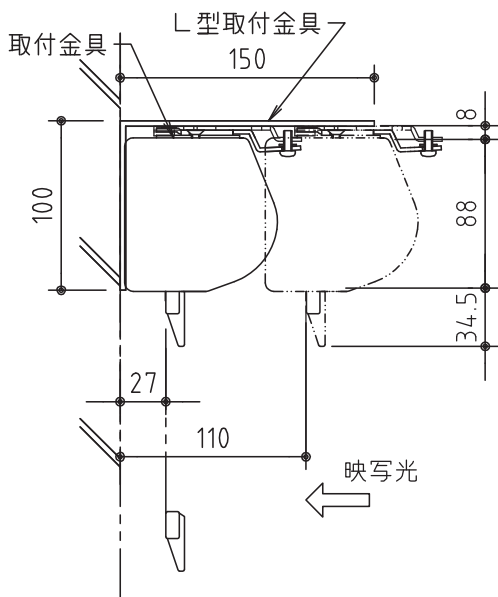
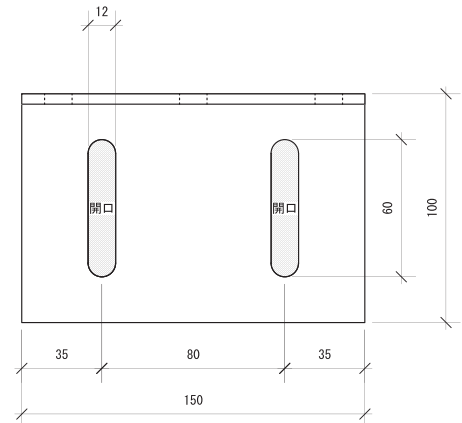
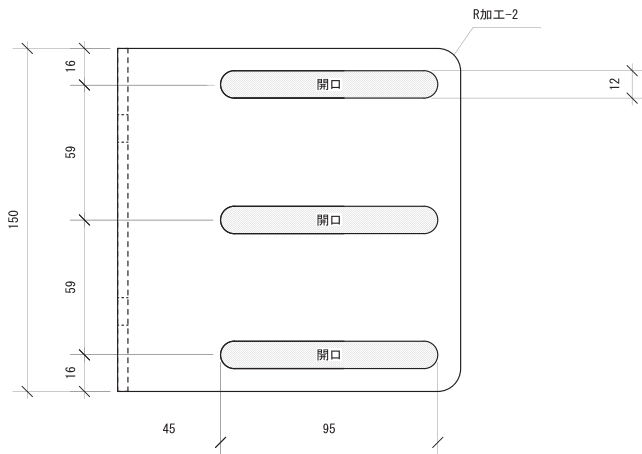
- ① 中央のつまみをしっかり握り、スクリーンを黒板面から剥がしてください。
- ② つまみを軽く引き下げ（8cm 以内）、ロックを解除させるとスクリーンは自然に巻き戻ります。
- ③ つまみを持ったまま黒板面から剥がします。スクリーンがケースに完全に収納されるまで手を離さないでください。



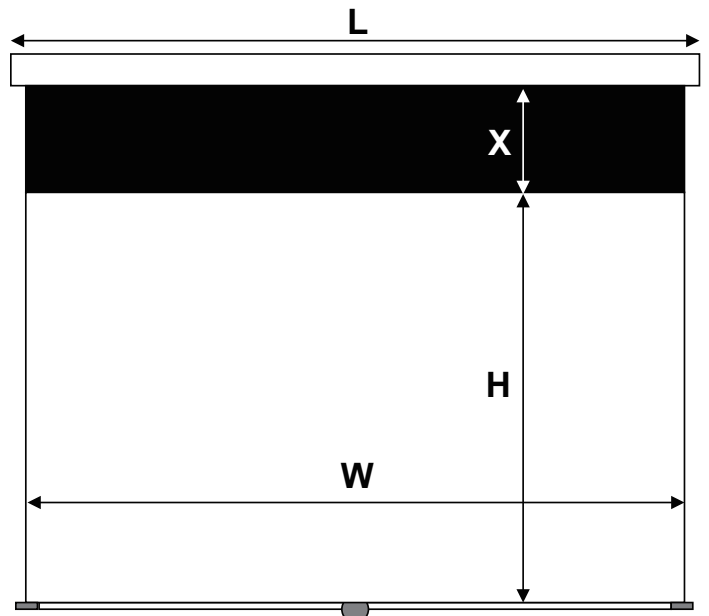
# スクリーンのお手入れ

長時間使用するとマグネットスクリーン表面にマーカの細かい顔料が付着し汚れますが、水拭きで簡単に拭き取ることができます。使用するときにはスクリーンが完全に乾いてからご使用ください。水拭きのお手入れは1週間に1回程度をおすすめします。

## 基本仕様



L型取付金具詳細 S=1/5



品番	価格	仕様生地	フォーマット
IS-WOL80V	OPEN	WOL	16 : 10
イメージ寸法 W × H(mm)	ケース寸法 L(mm)	上黒 (MAX) X(mm)	重量 (kg)
1871 × 1160	1957	300	7.5

製造元・問い合わせ先

泉 株式会社 樹脂事業部 東京樹脂課 〒141-0021 東京都品川区上大崎三丁目1番1号 JR 東急目黒ビル 15F TEL : (03) 5719-7482